

学会概要

入会案内

研究大会

研究会掲示板

データベース

ダウンロード

『公共政策研究』

ホーム

事務局

「公共政策フォーラム2006 IN 水戸」開催について (案)

第18回全国生涯学習フェスティバル・生涯学習シンポジウム

「公共政策フォーラム2006IN水戸」

要綱・参加申込 →



1 趣 旨

近年、我が国の社会環境の急激な変化に伴い、人々の意識や価値観は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める傾向が強くなっている。生活に潤いをもたらす、心豊かにする文化活動に対し、市民の関心や期待も高まってきているところである。

一方地域では、住民同士の連帯感が失われつつある状況であり、地域の活力を向上させ、活気ある住みよいまちづくりを進めることが大きな課題となっている。

今回、まちづくりを進めるための一つの方策として、文化活動との連携というテーマを掲げ、市民の皆様、地域における課題と地域の活力の向上のための方策について理解していただくことを目的にフォーラムを開催する。

- 2 名 称 第18回全国生涯学習フェスティバル・『公共政策フォーラム2006 IN 水戸』
*第18回全国生涯学習フェスティバルが本年10月に茨城県を舞台に開催されることに伴い、フェスティバル事業の一環として開催します。

- 3 テーマ 「文化活動と地域の活力」

- 4 開催日時 平成18年10月6日(金) 13:30~17:30、10月7日(土) 10:00~17:30

- 5 場 所 水戸芸術館ACM劇場(水戸市五軒町1-6-8)

[【学生による政策コンペ】](#) テーマ「文化活動と連携するまちづくり」

申込書 [\(WORDファイル\)](#) [\(PDFファイル\)](#)

10月7日(土) 水戸芸術館ACM劇場

午前の部【パネルディスカッション】「大学連携と地域活性化」

午後の部【メインフォーラム パネルディスカッション】「文化活動と地域の活力」

- 6 主 催 公共政策フォーラム2006 IN水戸実行委員会(日本公共政策学会、水戸市) 全国生涯学習フェスティバル水戸市実行委員会(事務局:水戸市教育委員会生涯学習課)

- 7 参加費 無料。(交流会参加料は別途)

- 8 参加者 日本公共政策学会員、市民、地元自治体関係者、政策コンペ参加学生、地元学校関係者等

プ ロ グ ラ ム

《10月6日》

13:30~17:30 学生による政策コンペ 「テーマ:文化活動と連携するまちづくり」

18:00~19:00 エクスカーション 場所:水戸偕楽園-仲秋の名月の夕べ

19:30~21:30 学生交流会 場所:水戸芸術館会議場

《10月7日》

10:00~11:30 パネルディスカッション 「テーマ:大学連携と地域活性化」

コーディネーター

細野助博 (学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事)

パネリスト

高木勇夫(常磐大学学長)

三村信男(茨城大学教授)

13:15～13:30 オープニング 学会会長, 水戸市長あいさつ

13:30～14:30 基調講演 「テーマ:自治体再構築の考え方」
松下圭一(法政大学名誉教授)

14:40～15:20 政策コンペ優秀グループによる発表

15:30～17:30 パネルディスカッション 「テーマ:文化活動と地域の活力」
コーディネーター
飯尾潤(政策研究大学院大学教授)

パネリスト
石田芳弘(犬山市長)
加藤秀樹(構想日本)

18:00～20:00 交流会 場所:水戸芸術館会議場

事務局 〒310-860 水戸市中央1-4-1

水戸市教育委員会 生涯学習課 (担当:藤枝, 鈴木)

TEL:029-224-1111 (代) 内線540, 541

FAX:029-228-3553

学生政策コンペの参加募集
第18回全国生涯学習フェスティバル
『 公共政策フォーラム2006IN水戸 』

今年10月に企画しております『公共政策フォーラム2006IN水戸』の中で、「学生政策コンペ」を行うことになりました。奮ってのご参加をお待ちしております。

→ [PDFファイル](#)

学生政策コンペのテーマ : 「文化活動と連携するまちづくり」

テーマ解題

近年,我が国の社会環境の急激な変化に伴い,今,地域では,住民同士の連帯感が失われつつある一方で,人々の意識や価値観は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める傾向が強くなっています。このような状況を背景として,生活に潤いをもたらす,心豊かにする文化活動の重要性も叫ばれており,市民の文化に対する関心や期待も高まってきています。

今回は,まちづくりを考える上でこの文化活動をどう連携させていくかがテーマです。その方策について具体的な提案をしてください。

参加資格:基本的に大学のゼミ単位。(サークル・有志等のグループでも可。ご相談ください)

参加申込方法:次ページのフォーマットで,FAXあるいはEメールでお申込みください。

申込締切日:平成18年7月25日(火)

発表の方法:パワーポイントを利用し,20分以内(参加校数により変更あり)の発表とする。

発表資料として,参加者に配布するレジメを用意すること。

《フォーラム全体のスケジュール案》

10月6日(金) 学生による政策コンペ (場所:水戸芸術館ACM劇場)

13:30～17:30 学生による政策コンペ

18:00～19:00 エクスカージョン (場所:水戸偕楽園一仲秋の名月の夕べ)

19:30～21:30 学生交流会

10月7日(土) フォーラム (場所:水戸芸術館ACM劇場)

10:00～11:30 パネルディスカッション? 「テーマ:大学連携と地域活性化」

13:15~13:30 オープニング (学会会長, 水戸市長あいさつ)
 13:30~14:30 基調講演 (学会初代会長・松下圭一氏)
 14:40~15:20 政策コンペ優秀グループによる発表
 15:30~17:30 パネルディスカッション 「テーマ:文化活動と地域の活力」
 18:00~20:00 交流会

連絡・問合せ先: 公共政策フォーラム2006 IN 水戸実行委員会

事務局 〒310-0860 水戸市中央1-4-1
 水戸市教育委員会 生涯学習課 担当: 藤枝, 鈴木
 TEL: 029-224-1111 (代) 内線540, 541 FAX: 029-228-3553
 E-mail : lifelong.learning@city.mito.ibaraki.jp

2006年日本公共政策学会10周年記念大会・企画(案)

[情報セキュリティ大学院研究大会案内\(PDF/5月22日\)はこちらから](#)
[大会趣旨など\(PDF/4月24日\)はこちらから](#)

今年度の日本公共政策学会10周年記念研究大会を下記により開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日本公共政策学会会長 細野 助博

記

日時: 2006年6月10日(土)・11日(日)
 会場: 明治大学 駿河台校舎 リバティータワー ([後掲地図参照](#))

日 程: 第1日目 6月10日(土)

08:20~ 受付開始

09:00~09:30

開会の挨拶 細野 助博 会長
 全体的な課題設定 森田 朗 企画委員長

09:30~11:30 全体セッションA: 科学技術と「生」の質
 司会者 : 平川秀幸 (大阪大学)
 海外講演者 : Rinie Van Est (ラテナウ研究所)
 「科学技術と「生」- ナノテクとロボットの技術評価を素材として」(仮題)

国内コメンテーター

有本 建男 (内閣府経済社会総合研究所) 「科学技術政策の観点から」
 矢崎 義雄 (独立行政法人国立病院機構) 「医療現場の観点から」
 桑子 敏雄 (東京工業大学) 「哲学の観点から」(仮題)

12:30~13:30 総 会

13:45~15:45 全体セッションB: 技術とセキュリティ
 司会者 : 猪口 孝 (中央大学)
 海外講演者 : Kent Calder (ジョンズホプキンス大) 「技術とセキュリティ: アジアのエネルギー危機を中心として」(仮題)

国内コメンテーター :

榊本 晃章 (電気事業連合会) 「エネルギー事業者の観点から」(仮題)
 鈴木 一人 (筑波大学) 「宇宙技術の観点から」(仮題)
 堀井 秀之 (東京大学) 「社会技術の観点から」(仮題)

16:00~18:00 全体セッションC：電子政府と政策形成

司会者：城山 英明 (東京大学)

海外講演者：Jane Fountain (マサチューセッツ大) 「米国における電子政府化と業務運営・政策形成」 (仮題)

国内コメンテーター：大山 永昭 (東京工業大学) 「日本の電子政府政策と課題」 (仮題)

辻井 重男 (情報セキュリティ大学院大学) 「情報セキュリティの観点から」

(仮題)

奥村 裕一 (株式会社フューチャーコミュニティ研究所、東京大学) 「日米電子政府推

進にみる行政マネジメント比較」

18:10~20:00 懇親会

-18:10~18:30 学会賞発表/表彰式

-18:30~18:40 大会実行委員長挨拶

日程：第2日目 6月11日(日)

09:00~10:30 分科会1

・1-A：健康増進政策の転換期とフードファティズム：検診制度を越えて (パネルディスカッション)

司会者：古瀬 幸広 (メイプル株式会社、国際大学、関西大学)

パネリスト：関谷 剛 (東京大学病院) 「現代病としてのアレルギーと生活習慣病」 (仮題)

高橋 久仁子 (群馬大学) 「フードファティズムの問題」 (仮題)

・1-B：エネルギー安全保障 (パネルディスカッション)

司会者：鈴木 達治朗 ((財)電力中央研究所、東京大学)

報告者：須藤 繁 ((財)国際開発センター) 「石油・ガス資源の将来見通し」

橋本 尚人 (野村證券株式会社) 「大きな会社・小さな会社」

大森 良太 (独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター) 「二つの中国・シナリオ研究」 (仮題)

・1-C：アジアにおける電子政府化 [E-Government in East Asia] 【英語】

司会者：毛 桂栄 (明治学院大学)

報告者：任 丙強 (北京航空航天大学公共管理学院) 「E-Government and Information Security in China」 (仮題)

Hong Sung Gul (Kookmin University) 「Improvement of Korean Public Administration on Korean IT Government」

廣瀬克哉 (法政大学) 「E-Government without Users? : the Case of Japan」

討論者：Moon Myung Jae (Korea University)

毛 桂栄 (明治学院大学) 〈司会者を兼ねる〉

10:45~12:15 分科会2

・2-A：環境政策におけるリスク評価と予防原則

司会者：諸富 徹 (京都大学)

報告者：岡 敏弘 (福井県立大学) 「予防原則はリスク評価を必要とする」

高村 ゆかり (龍谷大学) 「国際環境法における予防原則—その動態と機能」

石原 孝二 (北海道大学) 「リスク評価と予防原則の規範的基礎」

討論者：長谷川 公一 (東北大学)

赤尾 健一 (早稲田大学)

・2-B：情報インフラの国際基準：ICTタグを事例として—パネルディスカッション

司会者：遠藤 乾 (北海道大学)

パネリスト：

- 石澤 直孝 (株式会社MTI、EPCglobal物流会合・共同議長)
「国際物流における電子タグ標準化の観点から」 (仮題)
- 佐藤 昭和 (花王株式会社、日本GCI推進協議会幹事)
「メーカー、卸、小売による流通における標準化の観点から」 (仮題)
- 濱野 径雄 ((財) 流通システム開発センター)
「流通システムにおける標準化の観点から」 (仮題)
- 吉村 達哉 (ソニー株式会社、家電コンソーシアム事務局)
「メーカーによる標準化の観点から」 (仮題)

・ 2-C：電子政府と民主主義：eガバメントからeデモクラシーへ

- 司会者 : 坪内 淳 (山梨大学)
- 報告者 : 岩崎 正洋 (日本大学) 「日本における電子投票の現状と課題」
天野 慎也 (日本大学) 「議員活動におけるインターネットの利用」
木暮 健太郎 (鎌倉女子大学) 「eガバナンスの可能性」
- 討論者 : 山本 達也 (慶応義塾大学)

12:15~13:15 新理事会

13:15~13:45 総 会

13:45~15:15 分科会3

・ 3-A：電子ジャーナルの普及と独創的科学的発展 (政策分析ネットワーク共同企画)

- 司会者 : 鶴飼 康東 (関西大学)
- 報告者 : 松山 裕二 (ゼファー株式会社) 「大学の論文発表：電子ジャーナルを使用した計量書誌的考察」
藤田 節子 (川村学園女子大学) 「国内科学技術系学会誌の投稿規程の分析」
- 討論者 : 石井 米雄 (人間文化研究機構) 「歴史学者からみた査読付学術誌」
足立 幸男 (京都大学大学院) 「政策学者からみた査読付学術誌」

・ 3-B：災害リスクガバナンスの戦略：開発、環境、自然災害の視点から
(独立行政法人防災科学技術研究所共同企画)

- 司会者 : 池田 三郎 (筑波大学名誉教授)
- 報告者 : 池田 三郎 (筑波大学名誉教授) 「基調討論：災害リスクガバナンスの戦略について」
長坂 俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所) 「情報通信技術を活用した地域コミュニティにおける災害リスクガバナンス」
天野 玲子 (鹿島建設) 「地域防災計画の高度化における各種ハザード情報の統合的利用」
瀬尾 佳美 (青山学院大学) 「リスク社会とリスクコミュニケーション」
水野 敏明 (World Wide Fund for Nature Japan) 「生物多様性へのリスクガバナンスー環境と防災の視点から」
- 討論者 : 前田 恭伸 (静岡大学)
- 中須 正 (独立行政法人防災科学技術研究所)

・ 3-C：連携ガバナンスー市民、NPO、企業、自治体の連携による政策形成ーパネルディスカッション

- 司会者 : 増山 幹高 (慶応義塾大学)
- パネリスト：河井 孝仁 (東海大学) 「地域ガバナンスにとってのeコミュニティ」
金山 智子 (慶応義塾大学) 「行政と市民の情報発信における協働」
高木 聡一郎 ((株) NTTデータシステム科学研究所) 「行政・企業・NPO等のネットワークによるガバナンス」

15:30~17:00 全体総括セッション (司会：森田朗 企画委員長)

ー15:30~15:45 全体の議論の方向 (初日の議論を中心に) : 企画委員

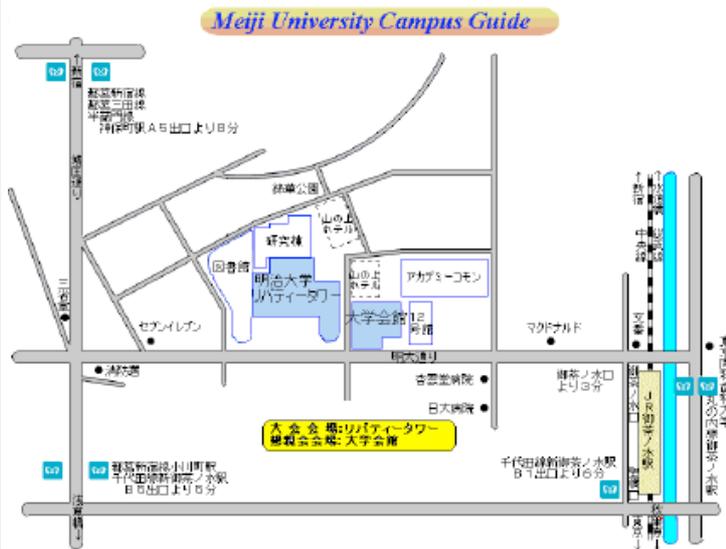
ー15:45~16:30 各分科会代表者からのフィードバック (5分×9セッション)

ー16:30~16:50 フロアーからのコメント

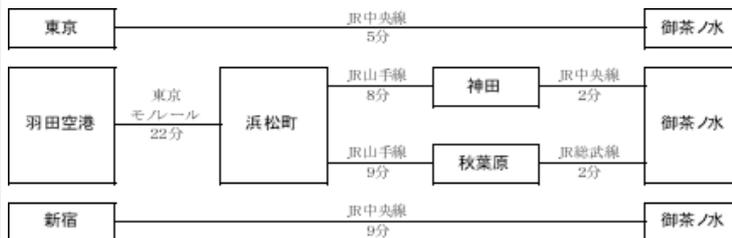
ー16:50~17:00 現会長、次期会長からの挨拶

交通案内

◆ 大会会場（明治大学駿河台校舎）周辺地図



◆ 主要駅からJR御茶ノ水駅までのアクセス（所要時間は目安）



【共催】

政策分析ネットワーク
 中央大学21世紀CEOプログラム
 独立行政法人 防災科学技術研究所

【後援】

総合研究開発機構 (NIRA)
 日本経済新聞

【協賛】

電気事業連合会
 財団法人 流通システム開発センター
 オムロン株式会社 等

『10周年記念研究大会 役員名簿』

会長	細野 助博	(中央大学)
副会長	森脇 俊雅	(関西学院大学)
企画委員長	森田 朗	(東京大学)
企画副委員長	城山 英明	(東京大学)
実行委員長	中邨 章	(明治大学)
実行副委員長	市川 宏雄	(明治大学)
事務局長	大山 耕輔	(慶応義塾大学)

終了

日時：6 月10 日、11 日

会場：明治大学リパティタワー

1. 共通テーマ：技術と社会

現代社会における公共政策において、技術の占める役割は、ますます大きくなりつつある。情報技術、エネルギー技術、医療技術の革新のインパクトに見られるように、技術は社会の基本的なあり方（居住形態、平均余命、組織の意思決定など）に大きな影響を及ぼす。また、技術の社会への導入は、技術的革新だけで可能になるわけではない。技術の導入が可能なるためには、様々な社会制度が同時にセットで導入される必要がある。技術利用に伴うリスクをコントロールするための安全規制、技術利用を広めるための標準化、技術利用のための経済メカニズム（料金制度や公的負担のための財源制度）、人間による技術利用を可能にするための教育制度等がその例に当たる。さらに、このような技術の導入は、国内社会だけではなく、国際社会のあり方にも大きな影響を与える。安全保障の面では、武器の小型化や、生物化学兵器に見られるような軍民両用技術の浸透は脅威の性格の変化に関連している。また、技術のあり方はエネルギー供給形態やエネルギー安全保障に大きな影響を与える。さらに、新技術の標準化がどのような型で行われるかは、企業や国の競争力にも大きな影響を与える。このように現代社会において技術の占める役割が大きくなる中で、社会と技術の関係をどのように構築するのか、というのは、公共政策にとっても大きな課題であるといえる。技術のあり方というのは、社会像、生のあり方と密接に結びついているのであり、将来の不確実性を意識しつつ、この両者をどのように繋いでいくのかという試みが求められる。

今年の公共政策学会においては、このような技術と社会の課題について、科学技術と生の質、技術とセキュリティ、電子政府と政策形成という、3つのテーマから迫っていく。また、このような検討を通して、技術と社会のあり方に関する今後の公共政策研究のあり方や課題を明らかにしていきたい。

2. プログラム

初日（6 月10 日）

(1) 9時－9時30 分：開会の挨拶（会長）、
全体的な課題設定（企画委員長）

(2) 9時半－11 時半：全体セッションA・科学技術と「生」の質
<趣旨>

科学技術のあり方は生のあり方、社会のあり方を密接に関係している。科学技術を発展させていくに当たって、どのような生のあり方、社会のあり方を想定すべきなのか、生のあり方、社会のあり方に関する構想と技術開発をどのように連関させていくべきかについて検討する。

司会者：平川秀幸（大阪大学）

海外講演者：Rinie Van Est（ラテナウ研究所）

国内コメンテーター：有本建男（内閣府経済社会研究所）、矢崎義雄（国立病院機構）、桑子敏雄（東京工業大学）

(3) 11 時半－12 時半：昼食

(4) 12 時半－13 時半：総会

(5) 13 時45 分－15 時45 分：全体セッションB・技術とセキュリティ

<趣旨>

技術の発展は国際社会の広義のセキュリティーにも影響を及ぼす。アジア地域において各国のエネルギー技術戦略やエネルギー輸入・利用戦略はこの地域のセキュリティーに大きな影響を持つ。また、軍民両用技術の管理も重要な課題であり、衛星からの情報は津波等の自然災害への対応や安全保障において重要な意味を持つ。アジア地域の広義のセキュリティーに関する秩序構築に当たって、経済的コストの観点も踏まえて、技術をどのように利用していくことができるのかについて検討する。

司会者：猪口孝（中央大学）

海外講演者：Kent Calder（ジョンズホプキンス大）

国内コメンテーター：榎本晃章（電気事業連合会）、鈴木一人（筑波大学）、堀井秀之（東京大学）

（6）16 時-18 時：全体セッションC・電子政府と政策形成

<趣旨>

情報技術の発展は、基本的な組織管理のあり方や、政府内部や政府と社会とのインターフェースにおける政策形成のためのコミュニケーションや社会的意思決定のあり方にも大きな影響を及ぼしつつある。民間企業における情報技術の利用による組織運営の変容の経験も踏まえて、政府という組織における業務運営、政策形成、意思決定、社会的諸団体とのネットワークのあり方がどのように変わる可能性があるのか、そのような潜在的可能性を生かすための制度的条件は何かについて検討する。

司会者：城山英明（東京大学）

海外講演者：Jane Fountain（マサチューセッツ大）

国内コメンテーター：大山永昭（東京工業大学）、辻井重男（情報セキュリティー大学院大学）、奥村裕一（フューチャーコミュニティー研究所、東京大学）

（7）18 時-18 時半：学会賞 発表 表彰式

（8）18 時半?：懇親会

2日目（6 月11 日）

（1）9 時-10 時半：分科会1

1-A 健康増進政策の転換期とフードファディズム：検診制度を越えてーパネルディスカッション?

司会者：古瀬幸久（メイプル株式会社）

パネリスト：関谷 剛（東京大学病院）、高橋 久仁子（群馬大学）

1-B エネルギー安全保障ーパネルディスカッション

司会者：鈴木達治郎（電力中央研究所、東京大学）

報告者：須藤繁（（財）国際開発センター）、橋本尚人（野村證券（株））、大森良太（独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター）

1-C アジアにおける電子政府化（E-Government in East Asia）ー英語

司会：廣瀬克哉（法政大学）

報告者：寧騒（北京大学公共政策研究所所長）、韓国政策学会招待報告者（予定）、廣瀬克哉（法政大学）

討論者：交渉中

（2）10 時45 分-12 時15 分：分科会2

2-A 環境政策におけるリスク評価と予防原則

司会者：諸富徹（京都大学）

報告者：岡敏弘（福井県立大学）、高村ゆかり（龍谷大学）、石原孝二（北海道大学）

討論者：長谷川公一（東北大学）、赤尾健一（早稲田大学）

2-B 情報インフラの国際標準化：ICタグを事例としてーパネルディスカッション

司会者：遠藤乾（北海道大学）

パネリスト：石澤直孝（株式会社MTI、EPCglobal 物流会合・共同議長）、佐藤昭和（株式会社花王、日本GCI推進協議会幹事）濱野径雄（（財）流通システム開発センター）、吉村達哉（ソニー株式会社、家電コンソーシアム事務局）

2-C 電子政府と民主主義：eガバメントからeデモクラシーへ

司会者：坪内淳（山梨大学）

報告者：岩崎正洋（日本大学）、天野慎也（日本大学）、木暮健太郎（鎌倉女子大学）

討論者：山本達也（慶應義塾大学）

（3）12 時15 分-13 時15 分：昼食、新理事会

（4）13 時15 分-13 時45 分：総会

（5）13 時45分-15 時15 分：分科会3

3-A 電子ジャーナルの普及と独創的科学的発展（政策分析ネットワーク共同企画）

司会者：鶴飼康東（関西大学）

報告者：松山裕二（ゼファー株式会社）、藤田節子（川村学園女子大学）

討論者：交渉中

3-B 災害リスクガバナンスの戦略：開発、環境、自然災害の視点から（Disaster Risk governance: Development, environment, and natural disaster）－通訳付（独立行政法人防災科学技術研究所共同企画）

司会者：池田三郎（筑波大学名誉教授）

報告者：Paul H. Templet (Louisiana State University)、長坂俊成（独立行政法人防災科学技術研究所）、伊藤杏里（鹿島建設）、瀬尾佳美（青山学院大学）

3-C 連携ガバナンスー市民、NPO、企業、自治体の連携による政策形成ーパネルディスカッション

司会者：増山幹高（慶応大学）

パネリスト：河井孝仁（東海大学）、金山智子（慶應義塾大学）、高木聡一郎（株）NTTデータシステム科学研究所）

(6) 15 時30分ー16時50分：全体総括セッション（司会：企画委員長）

15 時30 分ー15 時45 分：全体の議論の方向（初日の議論を中心に）：企画委員

15 時45 分ー16 時30 分：各分科会代表者からのフィードバック（5 分×9 セッション）

16 時30 分ー16 時50 分：フロアーからのコメント

(7) 16 時50 分ー17 時：現会長、次期会長からの挨拶

「公共政策フォーラム2006IN水戸」開催について

1 趣 旨

近年、我が国の社会環境の急激な変化に伴い、人々の意識や価値観は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める傾向が強くなっている。生活に潤いをもたらす、心豊かにする文化活動に対し、市民の関心や期待も高まってきているところである。

一方地域では、住民同士の連帯感が失われつつある状況であり、地域の活力を向上させ、活気ある住みよいまちづくりを進めることが大きな課題となっている。

今回、まちづくりを進めるための一つの方策として、文化活動との連携というテーマを掲げ、市民の皆様へ、地域における課題と地域の活力の向上のための方策について理解していただくことを目的にフォーラムを開催する。

2 名 称 第 18 回全国生涯学習フェスティバル・『 公共政策フォーラム 2006IN 水戸 』

*第18回全国生涯学習フェスティバルが本年10月に茨城県を舞台に開催されることに伴い、フェスティバル事業の一環として開催します。

3 テーマ 「文化活動と地域の活力」

4 開催日時 平成18年10月6日（金）13：30□ 17：30 10月7日（土）10：00□ 17：30

5 場 所 10月6日（金）水戸芸術館ACM劇場（水戸市五軒町1-6-8） 【学生による政策コンペ】…テーマ「文化活動と連携するまちづくり」 10月7日（土）水戸芸術館ACM劇場 午前の部【パネルディスカッション①】…「大学連携と地域活性化」 午後の部【メインフォーラムーパネルディスカッション②】 …「文化活動と地域の活力」

6 主 催 公共政策フォーラム2006IN水戸実行委員会 （日本公共政策学会、水戸市） 全国生涯学習フェスティバル水戸市実行委員会 （事務局：水戸市教育委員会生涯学習課）

7 参加費 無料。（交流会参加料は別途）

8 参加者 日本公共政策学会員、市民、地元自治体関係者、政策コンペ参加学生、 地元学校関係者等

プ ロ グ ラ ム

《10月6日》

時 間・構 成	内 容
13:30□ 17:30 学生による政策コンペ	「テーマ:文化活動と連携するまちづくり」
18:00□ 19:00 エクスカーション	場所:水戸偕楽園ー仲秋の名月の夕べ
19:30□ 21:30 学生交流会	場所:水戸芸術館会議室

《10月7日》

時 間・構 成	内 容
10:00□ 11:30 パネルディスカッション①	<p>「テーマ:大学連携と地域活性化」</p> <p>コーディネーター 細野助博 (学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事)</p> <p>パネリスト 高木勇夫 (常磐大学学長) 三村信男 (茨城大学教授)</p>
13:15□ 13:30 オープニング	学会会長, 水戸市長あいさつ
13:30□ 14:30 基調講演	「テーマ:自治体再構築の考え方」 松下圭一(法政大学名誉教授)
14:40□ 15:20 政策コンペ優秀グループによる発表	
15:30□ 17:30 パネルディスカッション②	<p>「テーマ:文化活動と地域の活力」</p> <p>コーディネーター 飯尾潤 (政策研究大学院大学教授)</p> <p>パネリスト 石田芳弘 (犬山市長) 加藤秀樹 (構想日本)</p>
18:00□ 20:00 交流会	場所:水戸芸術館会議室

事務局 〒310□ 0860 水戸市中央1□ 4□ 1

水戸市教育委員会 生涯学習課 (担当:藤枝, 鈴木)

TEL:029□ 224□ 1111 (代) 内線 540, 541

FAX:029□ 228□ 3553

E-mail: lifelong.learning@city.mito.ibaraki.jp

公共政策フォーラム2006IN 水戸

参加申込書

平成 18 年 10 月 6 日（金）□ 7 日（土）に開催される「公共政策フォーラム 2006 IN 水戸」に参加申込みます。

参加者氏名	フリガナ
所属先	
住所	
TEL	
FAX	
E-mail	
参加予定	10 月 6 日 <input type="checkbox"/> 学生政策コンペ <input type="checkbox"/> エクスカーション <input type="checkbox"/> 懇親会 10 月 7 日 <input type="checkbox"/> P・D① <input type="checkbox"/> 基調講演 <input type="checkbox"/> P・D② <input type="checkbox"/> 交流会

※団体で申込まれる場合は代表者のみ上表にご記入いただき、参加者名簿を添付してください。

※宿泊ご希望の方は、別紙宿泊申込書にてお申込みください。

申込み締切日：7 月 25 日

参加申込書送付先

FAX 又は E-mail で下記までお送りください。

事務局 〒310□ 0860 水戸市中央 1□ 4□ 1

水戸市教育委員会 生涯学習課 TEL：029□ 224□ 1111（代）内線 540, 541

FAX：029□ 228□ 3553

E-mail：lifelong.learning@city.mito.ibaraki.jp

『公共政策フォーラム 2006 IN 水戸』の宿泊のご案内

1 宿泊のご案内

10月6日(金)～7日(土) 1泊2日 又は 10月6日(金)～8日(日) 2泊3日

◎宿泊条件:1泊朝食付きです。(税・サービス料込み)

※申込記号 A のみ, 駐車場500円が別途かかります。(事前予約制)

◎部屋タイプはシングルのみとなります。

◎先着順に受付いたします。

◎ご希望のホテルが満室の場合, 他の手配可能なホテルにご案内いたしますので, あらかじめご了承ください。

申込記号	ホテル名	場所	会場までの距離	料金
A	ホテルサトー水戸	水戸市南町 3-4-50	徒歩5分	6,500円
B	水戸ハイアットホテル	水戸市宮町 3-2-14	徒歩15分	6,000円
C	ホテルステノ	水戸市南町 1-3-18	徒歩10分	6,000円
D	アーバンビジネスホテル	水戸市梅香 1-2-5	徒歩15分	6,000円

2 お申込み方法

◎別紙「宿泊申込書」に必要事項をご記入の上, 事務局までFAX 又はE-mail でお申込みください。

◎フォーラム開催の1ヶ月前までに, 宿泊確認証及びご請求書等をお送りいたします。

◎申し込み締切日: 7月25日(火)

3 変更・取り消しのご案内

◎お申込み後の変更・取り消しの際は, 必ず書面にてご連絡をお願いいたします。

◎宿泊の取り消しについては, ホテル規定の取消料がかかりますのでご注意ください。

宿泊申込書送付先

FAX 又は E-mail で下記までお送りください。

事務局 〒310□ 0860 水戸市中央 1□ 4□ 1 水戸市教育委員会 生涯学習課

TEL : 02 9□ 224□ 1111 (代) 内線 540, 541

FAX : 029□ 228□ 3553

E-mail : lifelong.learning@city.mito.ibaraki.jp

公共政策フォーラム2006IN 水戸 ・ 宿泊申込書

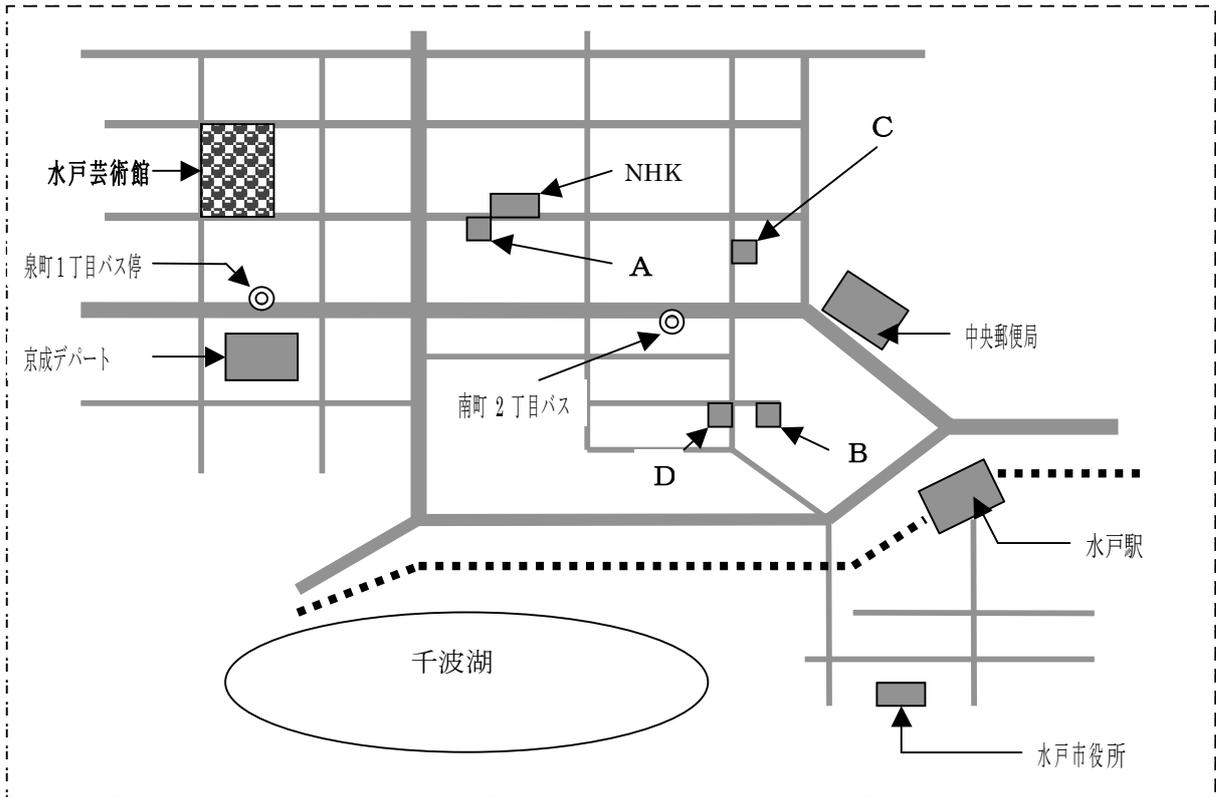
平成18年10月6日(金)□7日(土)に開催される「公共政策フォーラム2006 IN 水戸」に参加するため、宿泊を申し込みます。

県名	所属名	申込み代表者氏名	
	フリガナ	フリガナ	
書類等送付先 住所・連絡先	〒 □ (自宅・勤務先)	TEL	
		FAX	
		携帯	

	所属	宿泊者氏名	性別	希望ホテル 申込み記号		宿泊日	
				第1 希望	第2 希望	6□7日 1泊	6□8日 2泊
例	茨城大学	水戸太郎	男	A	B		○
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
※どちらかに○をつけてください。 () 全員同じホテル希望。 () 場合によっては別々のホテルでも可。							
※来水の方法に○をつけてください。 () 自家用車利用 () 公共交通機関利用							

事務局記入欄	
受付日	受付No.

アクセスマップ



交通案内

【JR 常磐線利用】 上野 → 水戸

- ・ 特急が1時間に2本運行。
(毎時00分, 30分上野発)
- ・ 所要時間: 1時間05分□20分

水戸駅北口 → バス → 泉町1丁目バス停下車 → 徒歩
2分 → 水戸芸術館

茨城交通バス, 関東鉄道バスで約7分

※大工町経由, 栄町経由の表示があれば泉町1丁目を通ります。

【高速バス利用】

《下り》 東京駅八重洲南口 → 水戸駅北口行き

会場へは, 泉町1丁目下車 → 徒歩2分 → 水戸芸術館

所要時間 1時間53分 運賃 2,080円

6枚つづり回数券 10,400円 (車内販売あり)

《上り》 水戸駅北口 → 東京駅日本橋口行き

※時刻表等の詳細は, インターネットでご確認ください。

ホテル案内

A: ホテルサトー水戸

B: 水戸ハイアットホテル

C: ホテルステノ

D: アーバンビジネスホテル

2006年日本公共政策学会10周年記念大会(6月10日11日)企画(案)

1. 共通テーマ:技術と社会

現代社会における公共政策において、技術の占める役割は、ますます大きくなりつつある。情報技術、エネルギー技術、医療技術の革新のインパクトに見られるように、技術は社会の基本的なあり方(居住形態、平均余命、組織の意思決定など)に大きな影響を及ぼす。また、技術の社会への導入は、技術的革新だけで可能になるわけではない。技術の導入が可能なるためには、様々な社会制度が同時にセットで導入される必要がある。技術利用に伴うリスクをコントロールするための安全規制、技術利用を広めるための標準化、技術利用のための経済メカニズム(料金制度や公的負担のための財源制度)、人間による技術利用を可能にするための教育制度等がその例に当たる。さらに、このような技術の導入は、国内社会だけではなく、国際社会のあり方にも大きな影響を与える。安全保障の面では、武器の小型化や、生物化学兵器に見られるような軍民両用技術の浸透は脅威の性格の変化に関連している。また、技術のあり方はエネルギー供給形態やエネルギー安全保障に大きな影響を与える。さらに、新技術の標準化がどのような型で行われるかは、企業や国の競争力にも大きな影響を与える。このように現代社会において技術の占める役割が大きくなる中で、社会と技術の関係をどのように構築するのか、というのは、公共政策にとっても大きな課題であるといえる。技術のあり方というのは、社会像、生のあり方と密接に結びついているのであり、将来の不確実性を意識しつつ、この両者をどのように繋いでいくのかという試みが求められる。

今年の公共政策学会においては、このような技術と社会の課題について、科学技術と生の質、技術とセキュリティ、電子政府と政策形成という、3つのテーマから迫っていく。また、このような検討を通して、技術と社会のあり方に関する今後の公共政策研究のあり方や課題を明らかにしていきたい。

2. プログラム

初日(6月10日)

(1) 9時 - 9時30分:開会の挨拶(会長)、
全体的な課題設定(企画委員長)

(2) 9時半 - 11時半:全体セッションA・科学技術と「生」の質
<趣旨>

科学技術のあり方は生のあり方、社会のあり方を密接に関係している。科学技術を発展させていくに当たって、どのような生のあり方、社会のあり方を想定すべきなのか、生のあり方、社会のあり方に関する構想と技術開発をどのように連関させていくべきかについて検討する。

司会者:平川秀幸(大阪大学)

海外講演者: Rinie Van Est(ラテナウ研究所)

国内コメンテーター: 有本建男(内閣府経済社会研究所)、矢崎義雄(国立病院機構)、

桑子敏雄(東京工業大学)

(3)11時半 - 12時半:昼食

(4)12時半 - 13時半:総会

(5)13時45分 - 15時45分:全体セッションB・技術とセキュリティ

<趣旨>

技術の発展は国際社会の広義のセキュリティにも影響を及ぼす。アジア地域において各国のエネルギー技術戦略やエネルギー輸入・利用戦略はこの地域のセキュリティに大きな影響を持つ。また、軍民両用技術の管理も重要な課題であり、衛星からの情報は津波等の自然災害への対応や安全保障において重要な意味を持つ。アジア地域の広義のセキュリティに関する秩序構築に当たって、経済的コストの観点も踏まえて、技術をどのように利用していくことができるのかについて検討する。

司会者：猪口孝（中央大学）

海外講演者：Kent Calder（ジョンズホプキンス大）

国内コメンテーター：榎本晃章（電気事業連合会）、鈴木一人（筑波大学）、堀井秀之（東京大学）

(6)16時 - 18時:全体セッションC・電子政府と政策形成

<趣旨>

情報技術の発展は、基本的な組織管理のあり方や、政府内部や政府と社会とのインターフェースにおける政策形成のためのコミュニケーションや社会的意思決定のあり方にも大きな影響を及ぼしつつある。民間企業における情報技術の利用による組織運営の変容の経験も踏まえて、政府という組織における業務運営、政策形成、意思決定、社会的諸団体とのネットワークのあり方がどのように変わる可能性があるのか、そのような潜在的可能性を生かすための制度的条件は何かについて検討する。

司会者：城山英明（東京大学）

海外講演者：Jane Fountain（マサチューセッツ大）

国内コメンテーター：大山永昭（東京工業大学）、辻井重男（情報セキュリティ大学院）、奥村裕一（フューチャーコミュニティ研究所、東京大学）

(7)18時 - 18時半:学会賞 発表 表彰式

(8)18時半 :懇親会

2日目(6月11日)

(1)9時 - 10時半:分科会1

1 - A 健康増進政策の転換期とフードファディズム:検診制度を越えて - パネルディスカッション?

司会者:古瀬幸久(メイプル株式会社)

パネリスト:関谷 剛(東京大学病院)、高橋 久仁子(群馬大学)

1 - B エネルギー安全保障 - パネルディスカッション

司会者:鈴木達治郎(電力中央研究所、東京大学)

報告者:須藤繁((財)国際開発センター)、橋本尚人(野村證券(株))、大森良太(独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター)

1 - C アジアにおける電子政府化(E-Government in East Asia) - 英語

司会:廣瀬克哉(法政大学)

報告者:寧騷(北京大学公共政策研究所所長)、韓国政策学会招待報告者(予定)、廣瀬克哉(法政大学)

討論者:交渉中

(2)10時45分 - 12時15分:分科会2

2 - A 環境政策におけるリスク評価と予防原則

司会者:諸富徹(京都大学)

報告者:岡敏弘(福井県立大学)、高村ゆかり(龍谷大学)、石原孝二(北海道大学)

討論者:長谷川公一(東北大学)、赤尾健一(早稲田大学)

2 - B 情報インフラの国際標準化:ICタグを事例として - パネルディスカッション

司会者:遠藤乾(北海道大学)

パネリスト:石澤直孝(株式会社MTI、EPCglobal 物流会合・共同議長)、佐藤昭和(株式会社花王、日本GCI推進協議会幹事)、濱野径雄((財)流通システム開発センター)、吉村達哉(ソニー株式会社、家電コンソーシアム事務局)

2 - C 電子政府と民主主義:eガバメントからeデモクラシーへ

司会者:坪内淳(山梨大学)

報告者:岩崎正洋(日本大学)、天野慎也(日本大学)、木暮健太郎(鎌倉女子大学)

討論者:山本達也(慶應義塾大学)

(3)12時15分 - 13時15分:昼食、新理事会

(4)13時15分 - 13時45分:総会

(5)13時45分 - 15時15分:分科会3

3 - A 電子ジャーナルの普及と独創的科学の発展(政策分析ネットワーク共同企画)

司会者：鵜飼康東（関西大学）

報告者：松山裕二（ゼファー株式会社）、藤田節子（川村学園女子大学）

討論者：交渉中

3 - B 災害リスクガバナンスの戦略:開発、環境、自然災害の視点から(Disaster Risk governance: Development, environment, and natural disaster) - 通訳付(独立行政法人防災科学技術研究所共同企画)

司会者：池田三郎（筑波大学名誉教授）

報告者：Paul H. Templet（Louisiana State University）、長坂俊成（独立行政法人防災科学技術研究所）、伊藤杏里（鹿島建設）、瀬尾佳美（青山学院大学）

3 - C 連携ガバナンス - 市民、NPO、企業、自治体の連携による政策形成 - パネルディスカッション

司会者：増山幹高（慶応大学）

パネリスト：河井孝仁（東海大学）、金山智子（慶應義塾大学）、高木聡一郎（(株)NTTデータシステム科学研究所）

(6)15時30分 - 16時50分:全体総括セッション(司会:企画委員長)

15時30分 - 15時45分:全体の議論の方向(初日の議論を中心に):企画委員

15時45分 - 16時30分:各分科会代表者からのフィードバック(5分×9セッション)

16時30分 - 16時50分:フロアーからのコメント

(7)16時50分 - 17時:現会長、次期会長からの挨拶

終了

「公共政策フォーラム2006IN水戸」開催について(案)

1 趣 旨

近年、我が国の社会環境の急激な変化に伴い、人々の意識や価値観は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める傾向が強くなっている。生活に潤いをもたらす、心豊かにする文化活動に対し、市民の関心や期待も高まってきているところである。

一方地域では、住民同士の連帯感が失われつつある状況であり、地域の活力を向上させ、活気ある住みよいまちづくりを進めることが大きな課題となっている。

今回、まちづくりを進めるための一つの方策として、文化活動との連携というテーマを掲げ、市民の皆様は、地域における課題と地域の活力の向上のための方策について理解していただくことを目的にフォーラムを開催する。

2 名 称 第 18 回全国生涯学習フェスティバル・『 公共政策フォーラム 2006IN 水戸 』

*第18回全国生涯学習フェスティバルが本年10月に茨城県を舞台に開催されることに伴い、フェスティバル事業の一環として開催します。

3 テーマ 「文化活動と地域の活力」

4 開催日時 平成18年10月6日(金) 13:30□ 17:30 10月7日(土) 10:00□ 17:30

5 場 所 10月6日(金) 水戸芸術館ACM劇場(水戸市五軒町1-6-8) 【学生による政策コンペ】…テーマ「文化活動と連携するまちづくり」 10月7日(土) 水戸芸術館ACM劇場 午前の部【パネルディスカッション①】…「大学連携と地域活性化」 午後の部【メインフォーラムーパネルディスカッション②】 …「文化活動と地域の活力」

6 主 催 公共政策フォーラム2006IN水戸実行委員会 (日本公共政策学会, 水戸市) 全国生涯学習フェスティバル水戸市実行委員会 (事務局: 水戸市教育委員会生涯学習課)

7 参加費 無料。(交流会参加料は別途)

8 参加者 日本公共政策学会員, 市民, 地元自治体関係者, 政策コンペ参加学生, 地元学校関係者等

プ ロ グ ラ ム

《10月6日》

時 間・構 成	内 容
13:30□ 17:30 学生による政策コンペ	「テーマ:文化活動と連携するまちづくり」
18:00□ 19:00 エクスカーション	場所:水戸偕楽園ー仲秋の名月の夕べ
19:30□ 21:30 学生交流会	場所:水戸芸術館会議場

《10月7日》

時 間・構 成	内 容
10:00□ 11:30 パネルディスカッション①	「テーマ:大学連携と地域活性化」 コーディネーター 細野助博 (学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事) パネリスト 高木勇夫 (常磐大学学長) 三村信男 (茨城大学教授)
13:15□ 13:30 オープニング	学会会長, 水戸市長あいさつ
13:30□ 14:30 基調講演	「テーマ:自治体再構築の考え方」 松下圭一 (法政大学名誉教授)
14:40□ 15:20 政策コンペ優秀グループによる発表	
15:30□ 17:30 パネルディスカッション②	「テーマ:文化活動と地域の活力」 コーディネーター 飯尾潤 (政策研究大学院大学教授) パネリスト 石田芳弘 (犬山市長) 加藤秀樹 (構想日本)
18:00□ 20:00 交流会	場所:水戸芸術館会議場

事務局 〒310□ 0860 水戸市中央1□ 4□ 1

水戸市教育委員会 生涯学習課 (担当:藤枝, 鈴木)

TEL: 029□ 224□ 1111 (代) 内線 540, 541

FAX:029□ 228□ 3553

学生政策コンペの参加募集

第18回全国生涯学習フェスティバル 『 公共政策フォーラム 2006IN 水戸 』

今年10月に企画しております『公共政策フォーラム 2006IN 水戸』の中で、「学生政策コンペ」を行うことになりました。奮ってのご参加をお待ちしております。

学生政策コンペのテーマ：「文化活動と連携するまちづくり」

テーマ解題

近年、我が国の社会環境の急激な変化に伴い、今、地域では、住民同士の連帯感が失われつつある一方で、人々の意識や価値観は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める傾向が強くなっています。このような状況を背景として、生活に潤いをもたらす、心豊かにする文化活動の重要性も叫ばれており、市民の文化に対する関心や期待も高まってきています。

今回は、まちづくりを考える上でこの文化活動をどう連携させていくかがテーマです。その方策について具体的な提案をしてください。

参加資格：基本的に大学のゼミ単位。(サークル・有志等のグループでも可。ご相談ください)

参加申込方法：次ページのフォーマットで、FAXあるいはEメールでお申込みください。

申込締切日：平成18年8月11日(金)

発表の方法：パワーポイントを利用し、20分以内(参加校数により変更あり)の発表とする。

発表資料として、参加者に配布するレジメを用意すること。

《フォーラム全体のスケジュール案》

- | |
|--|
| 10月6日(金) 学生による政策コンペ (場所:水戸芸術館 ACM劇場) |
| 13:30□ 17:30 学生による政策コンペ |
| 18:00□ 19:00 エクスカーション (場所:水戸偕楽園-仲秋の名月の夕べ) |
| 19:30□ 21:30 学生交流会 |
| 10月7日(土) フォーラム (場所:水戸芸術館 ACM劇場) |
| 10:00□ 11:30 パネルディスカッション① 「テーマ:大学連携と地域活性化」 |
| 13:15□ 13:30 オープニング (学会会長, 水戸市長あいさつ) |
| 13:30□ 14:30 基調講演 (学会初代会長・松下圭一氏) |
| 14:40□ 15:20 政策コンペ優秀グループによる発表 |
| 15:30□ 17:30 パネルディスカッション② 「テーマ:文化活動と地域の活力」 |
| 18:00□ 20:00 交流会 |

連絡・問合せ先：公共政策フォーラム 2006IN 水戸実行委員会

事務局 〒310□ 0860 水戸市中央 1□ 4□ 1

水戸市教育委員会 生涯学習課 担当：藤枝，鈴木

TEL：029□ 224□ 1111 (代) 内線 540, 541 FAX:029□ 228□ 3553

E-mail：lifelong.learning@city.mito.ibaraki.jp

F A X 送 信

FAX 宛先 029-228-3553 (水戸市教育委員会生涯学習課)

学生による政策コンペ参加申込書

下記のフォームに記入の上、FAX か、あるいは同様の内容を E メールにてお送りください。

申込み締切りは、7月25日(火)とします。

E メールでの申込みは、以下のアドレスまで。

大学・学部名	
ゼミ等指導教員名	
教員の連絡先住所	
教員の連絡先電話番号	
教員の連絡先 FAX 番号	
教員の連絡先 E-mail	
学生代表者名	
学生代表者連絡先電話番号	
学生代表者連絡先 E-mail	
学生参加人数 (概数)	

*伏せておきたい情報でしたら、空欄にしておいてください。

*参加者には、後日、政策コンペスケジュール・発表方法などについての情報をお知らせいたします。

*参加ゼミ・学生には、宿泊の案内など、できるだけの情報提供をいたします。

*以後、連絡は基本的に E-mail で行いたいと思います。

*参加ゼミ数や人数によっては、時間など多少の変更がありうる事をご了承ください。

文化活動と地域活性化



近年、我が国の社会環境の急激な変化に伴い、地域においては、住民同士の連帯感が失われつつある状況であり、地域の活力を向上させ、活気あるまちづくりを進めることが大きな課題となっています。

今回、文化活動との連携というテーマを掲げ、地域における課題と地域の活力の向上のための方策について考えるフォーラムを開催します。

平成18年 **10月6日(金)**

水戸芸術館ACM劇場(水戸市五軒町1-6-8)

13:30~17:30

学生による政策コンペ

「テーマ:文化活動と連携するまちづくり」

平成18年 **10月7日(土)** 水戸芸術館ACM劇場(水戸市五軒町1-6-8)

10:00~11:30

パネルディスカッション①

「テーマ:大学連携と地域活性化」

コーディネーター

細野 助博さん

(学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事)

パネリスト

高木 勇夫さん

(常磐大学学長)

三村 信男さん

(茨城大学教授)

13:30~17:30

基調講演

「テーマ:自治体再構築の考え方」

講師 **松下 圭一さん**(法政大学名誉教授)

パネルディスカッション②

「テーマ:文化活動と地域の活力」

コーディネーター

飯尾 潤さん(政策研究大学院大学教授)

パネリスト

石田 芳弘さん(愛知県犬山市長)

加藤 秀樹さん(構想日本)

主催/公共政策フォーラム2006IN水戸実行委員会(日本公共政策学会)
全国生涯学習フェスティバル水戸市実行委員会

(事務局:水戸市教育委員会生涯学習課 TEL:029-224-1111(代))

